

報告 議会の動き

信頼関係が基本



快適な環境へ

信頼回復に務める

最終日の本会議冒頭で、歳暮と中元問題の新聞報道に対し町長から「改めて議員、町民の皆さんに多大な心配と迷惑をかけたことをお詫びします。今後は、山積する町政の課題に取り組み信頼回復に務めます」との発言がありました。

町民の意志は重く受け止める」と発言していますが、辞職することは考えないのか」の問いに、町長は「新聞報道で知っただけで今後の手続きなどは知るよしもない」と答弁しました。また、検察から起訴された場合のことを問われ「現時点では、そこまでふみこんだ答弁はできません」と答えました。

簡易臭気測定器を導入

6月17日に開催された総務厚生・産建文教常任委員連合委員会で、タナカ種蓄牧場の臭気対策の状況について

・ 悪臭防止対策の基礎資料とするために簡易臭気測定器を導入し、地域・事業者・行政の三者がお互いの信頼関係のなかで立会いのもと臭気測定を行なっていく。

・ 5月19日、2台購入した簡易臭気測定器のメーカー

による操作説明会の後、測定を数回実施。測定値にバラつきがあったので、24時間体制も含め定期的にデータを収集し数値化をはかり、事業者と地域の方と協議をしながら臭気の数値を設定し、問題の改善に取り組みますとの説明が当局からありました。

委員から、「測定時に地元の方が感じる悪臭の数値が出ないという実態があったのではないか。臭いの把握

は難しいと思うので、目標値を定めるにあたっては豚舎の敷地境界での測定が必要と考えます」との意見がありました。

当局からは、「口蹄疫防止のためや測定器の電源のこともあるので、苦情の出されている住宅地での測定をした後、敷地境界で行いたいと考えています」との答弁がありました。



簡易臭気測定器